

令和新時代の本県高等学校教育の在り方について（資料一覧）

高等学校課

- (1) 令和新時代の本県高等学校教育の在り方について（諮問）
- (2) 令和新時代の本県高等学校教育の在り方について（諮問）【概要】
- (3) 鳥取県教育審議会学校等教育分科会委員名簿
- (4) スケジュール概要
- (5) 児童生徒数の推移（学校基本調査）
- (6) 鳥取県の人口動態推移
- (7) 高等学校教育改革における県立高等学校の概要
- (8) 県立高等学校募集生徒数（令和2年度）
- (9) 高等学校の生徒数（令和元年度）
- (10) 鳥取県の高等学校等設置状況
- (11) 県立高等学校設置学科及び学級数（令和2年度入学生）
- (12) 県立高等学校（全日制）の生徒数一覧
- (13) 県立高等学校（定時制・通信制）の生徒数一覧
- (14) 全国公立高等学校大学科別構成比
- (15) 県立高等学校（全日制）における学科設置状況

令和新時代の本県高等学校教育の在り方について（諮問）

本県の高等学校教育については、平成期以降、長期にわたる中学校卒業生数の減少が見込まれる中、社会の変化や生徒の多様化等へ対応するため、各時期に応じた方針を策定し改革に取り組み、次の時代を担う生徒を育成してきました。

＜平成元年度以降の高等学校改革の変遷の概要＞※括弧書きは対象期間と県立高等学校数の変化

1 本県高等学校教育の今後の在り方について

（平成2年度：28校～平成8年度：28校）

県内中学校卒業生数は、平成元年度には9,595人であったが、平成2年度以降の長期にわたる中学校卒業生の減少が見込まれたことから、平成元年9月に「社会の変化に対応する高等学校教育の在り方」「学校の適正な規模と配置」「学科の構成と入学定員」について高等学校教育審議会に諮問した。

平成2年8月の答申では、平成9年3月までは学級減及び学級定員減で高校進学者の受入に対応し、現状維持が望ましいこと、また時代の進展、社会環境の変化及び生徒の多様化等への対応、郷土を担う人材の育成、普通学科と専門学科の定員割合の維持、県立高校と私立高校の定員割合は、公立80%、私立20%を維持していくことが適当との提言がなされ、平成3年度以降の県立高等学校の在り方は、この答申に基づいて策定され、学科の見直し、募集定員の減などが行われた。

2 21世紀を展望した本県高等学校教育の在り方について

（平成9年度：28校～平成16年度：23校）

県立高等学校においては、昭和期の中学校卒業生数の増加や高校進学率の上昇にあわせて増設された学校規模で概ね推移してきたが、少子化や市部への人口流出、産業構造の変化に加え、平成12年度からの中期的で大幅な生徒減少期を前に、規模や配置を大幅に見直し、一層充実した教育活動に取り組むための改革の必要性が生じてきたことにより、平成7年9月に鳥取県高等学校教育審議会へ将来の本県高等学校の在り方について諮問した。

平成8年9月の答申では、国際化、情報化等の社会の変化や多様な個性をもつ生徒に対応できるよう新しいタイプの高等学校や学科の設置、多様な科目選択ができる学習形態の導入、専門学科の再編整理等が提言された。

この答申を踏まえ、平成8年12月には鳥取県産業教育審議会へ本県高等学校における職業教育の在り方について諮問し、平成9年7月には技術革新や社会の変化に対応した教育の推進や、専門学科の適正規模と配置について提言された。

これらの答申を受け、平成10年3月に示した基本計画では、総合学科や単位制の導入促進等に合わせ、平成16年度までに県立高等学校を6校削減する再編計画を決定した。

なお、平成16年度には定時制・通信制課程独立校として鳥取緑風高校を新設した。

3 次代を担う生徒を育成するための今後の活力ある本県高等学校教育の在り方について
(平成17年度：23校～平成23年度：24校)

その後も、インターネット等の情報通信技術の急速な発展により社会、経済のグローバル化が一層進展するなど、世界は大きく変化しつつある中、新たに導入された完全学校週5日制のもとで、自ら学ぶ力の育成もますます重要となるとともに、地方分権が着実に進む中で県民のニーズを踏まえた教育も求められ始めた。

さらに、中学校卒業生が引き続き減少期にあり、活力ある教育活動を維持するため、これらの諸課題に対応し、本県高等学校教育の充実を図るため、平成14年6月に今後の高等学校の在り方について諮問した。

平成15年10月の答申では、学校数は維持しつつ学校規模や定員数は総合的かつ柔軟に対応することを前提に、高度情報化社会に対応できる能力やコミュニケーション能力の育成、総合選択制の導入による専門学科の在り方が提言され、加えてこれらの提言を踏まえた地域社会と連携した学校教育の推進が謳われた。

なお、平成17年度には定時制・通信制課程独立校として米子白鳳高校を新設した。

4 次の時代を担う生徒を育成するための今後の活力ある本県高等学校教育の在り方
(平成24年度：24校～平成30年度：24校)

国際化、情報化、高齢化、少子化等の社会の急激な変化や生徒の多様化等に対応するため、「知」「徳」「体」の育成を重視し、社会の要請にこたえることができる魅力ある高等学校教育の在り方及び生徒減少期における今後の高等学校の在り方について平成19年7月に鳥取県教育審議会に諮問した。

平成21年2月の答申では、生徒に自らの将来の職業や生活を見通して、進学や就職などのために必要な学力や、社会において自立して生きるために必要な力、現代社会をめぐる様々な課題を解決へと導く能力を身に付けさせることができるよう、社会の発展への寄与などのより高い目標を掲げての動機づけを行うことに留意すべきであること、生徒減少期をきめ細やかな指導ができる好機ととらえ、現在の学校数及び配置は維持し、各学校の実情に応じて学級定員を減じて、多様な学科を維持すべきとの提言を受けた。これを踏まえ、県教委では今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針[平成25年度～平成30年度]を策定し、学級減や特色ある学科、コースへの見直し、地域と連携した教育の推進を図った。

5 次代を担う生徒を育成するための今後の活力ある本県高等学校教育の在り方について
(平成31年度：24校～平成37年度：24校予定)

今後も県人口の大幅な減少と中学校卒業生数の減少が見込まれる中であって、高い教育力を発揮できるようなシステムの構築と、魅力と活力にあふれる高等学校教育の在り方について、より柔軟な発想で長期的な展望に立って検討していくことが必要と考え、社会が大きく変化の中で、生徒の生きる力を育み、時代の要請に応じていく高等学校教育の在り方、県人口や生徒数の減少に対応した高等学校の在り方について平成25年4月に鳥取県教育審議会に諮問を行った。

平成26年9月の答申では、生涯を通じて主体的に学び、考え続ける力、他人を思いやる心など豊かな人間性の育成、生徒一人一人の可能性の伸長と社会的に自立していく基盤となる生き

る力の育成のほか、生徒数の減少への対応として鳥取県や地域を愛する生徒の育成、学校と地域の連携に加え教育機能を十分に発揮できる学校規模の維持のため、今後は学校や地域の状況に応じて学校又は学科の再編で対応することも視野に入れた検討を行うよう提言を受けた。

これら答申の趣旨を踏まえ、県教委では今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針[平成31年度～平成37年度(令和元年度～令和7年度のこゝ)]を策定し、時代や社会の変化に柔軟に対応できる高等学校教育、キャリア教育の充実や地域と連携した教育の推進と、生徒減少期への対応として学級減等と並行して魅力と活力にあふれる高等学校づくりに取り組むこととした。

この期間には基本方針作成当初、中学校卒業予定者は全県で367人減少することが見込まれており、この生徒減少に対しては原則として学級減で対応すること、県全体の学科の配置状況等を考慮しながら、複数校を対象とした再編や学級定員減等による教育の質の向上についても検討することが示されている。

現在、上記5の基本方針に基づき、中学校卒業予定者の減少や入学者が募集定員に満たない学校があるという現状に対して、県立高等学校重点校制度や、とっとり高校魅力化推進事業の実施等の取組をとおして、魅力と活力ある学校づくりに全力で取り組んでいるところです。

一方、国では「高大接続改革」という大改革が進行しており、その背景には、グローバル化の進展、技術革新、国内における生産年齢人口の急減などに伴い、社会構造が大きく変化している現状があります。そこで、国は、予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要という認識に立ち、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜を通じて学力の3要素を確実に育成・評価する、三者の一体的な改革に向けての取組を進めています。高等学校においては、令和2年度から導入される新大学入試制度、令和4年度から実施される新学習指導要領への対応が喫緊の課題となっています。

また、中央教育審議会初等中等教育分科会「新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会」では、令和元年度から Society 5.0 における学びの在り方、求められる人材像について検討を始めており、高等学校教育の在り方については、以下の事項などの検討に入っています。

- 生徒の学習意欲を喚起し能力を最大限伸ばすための普通科改革など学科の在り方
- いわゆる文系・理系の類型にかかわらず学習指導要領に定められた様々な科目をバランスよく学ぶことや、STEAM 教育※の推進
 - ※STEAM 教育…Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Art (芸術)、Mathematics (数学) の5領域を重視する教育方針
- 時代の変化・役割の変化に応じた定時制・通信制課程の在り方
- 地域社会や高等教育機関との協働による教育の在り方
- 特定分野に特異な才能を持つ者や障がいのある者を含む特別な配慮を要する生徒に対する指導及び支援の在り方など、生徒一人一人の能力、適性等に応じた指導の在り方

このような動きの中で、本県にもやがて到来する Society5.0 時代を見据えて、生徒がその変化に対応できるよう、未来をつくる資質と能力を育成することが求められています。

本県では少子高齢化の流れがさらに進み、令和16年度の本県中学校卒業見込者は、令和元年度の約2割減の4,000人程度まで減少していくことが見込まれています。若者を中心に県外への転出超過が続いている中、本県が持続可能な発展を遂げていくためには、地域の将来を支えていくことのできる人材を育成するという視点が大切となります。その際には、従来の意識を変革し、これまで以上に地域や家庭、PTA等とともに取り組むという、本県ならではのふるさとキャリア教育の推進が求められます。

また、本県の高等学校は、地域社会・産業界とのつながりを醸成しながら、各々の役割や特色を明確に打ち出すとともに、全ての生徒一人一人の能力を最大限伸ばすための教育の実現に取り組むことが必要です。

そのため、県教育委員会として、中学校卒業予定者の大幅な減少が想定される15年先を展望した令和新時代の魅力ある新しい高等学校及び学科の在り方や、高等学校教育の質を問うような抜本的な改革の道筋を明らかにしていく必要があります。

以上のことを踏まえつつ、生徒の減少と社会の急激な変化に対応し、「自立して 心豊かに生きる 未来を創造する」人材を育てるための県立高等学校の在り方について、主に次の観点から貴審議会に検討をお願いするものです。

<検討の観点>

- 1 新しい時代における魅力ある県立高等学校づくりの方策
 - ・ Society5.0 時代を見据えた生徒一人一人の能力を最大限伸ばす個別最適化された学び
 - ・ 将来の地域を支える人材を育てるふるさとキャリア教育の推進
 - ・ 地域から問題提起し、世界に貢献する行動ができる力を育成する学び
 - ・ 高等学校教育の普通科改革に対応した本県の普通学科の在り方
 - ・ 地域の産業界を支える視点での本県の専門学科の在り方
 - ・ 特別な支援が必要な生徒に対する指導及び支援の在り方
 - ・ 時代の変化・役割の変化に応じた定時制・通信制課程の在り方
- 2 新しい時代における県立高等学校の教育環境整備の方策
 - ・ 今後も続く生徒減少の中での学校規模の在り方
 - ・ 普通学科と専門学科、総合学科との適正配置の在り方
 - ・ 中山間地の小規模校の在り方
 - ・ 公立・私立高等学校、高等専門学校の役割分担や連携の在り方
 - ・ Society5.0 の社会に対応したICT利活用教育に関する学校施設・設備の在り方

令和新時代の本県高等学校教育の在り方について（諮問概要）

1 平成元年度以降の高等学校改革の変遷

- 長期にわたる中学校卒業生数の減少が見込まれる中、社会の変化や生徒の多様化等へ対応するため、各時期に応じた方針を策定し改革を実施。
- 学校数は、平成元年度の28校から令和元年度現在は24校。そのうち統廃合により新たに設置した高校は5校。
- 現在は、「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針[平成31年度～平成37年度]」に基づき、魅力と活力ある学校づくりに取組中。

2 現在の国の動き

- 「高大接続改革」－高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜を通じて学力の3要素を確実に育成する、三者の一体的な改革。
- 高等学校においては、令和2年度から新大学入試制度の導入、令和4年度から新学習指導要領の実施。
- 文部科学省においても中央教育審議会初等中等教育分科会「新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会」では、令和元年度からSociety5.0における学びの在り方、求められる人材像について検討を開始。

3 本県高等学校教育の在り方検討の背景

- 少子高齢化の流れに加え、若者を中心とした県外への転出超過が続いている中、持続可能な地域の発展を遂げていくためには、地域の将来を支えていくことのできる人材を育成するという視点が大切。
- また本県の高等学校は、地域社会・産業界とのつながりを醸成しながら、各々の役割や特色を明確に打ち出すとともに、全ての生徒一人一人の能力を最大限伸ばすための教育の実現に取り組むことが必要。
- そのため、県教育委員会として、中学校卒業予定者の大幅な減少が想定される15年先を展望した令和新時代の魅力ある新しい高等学校及び学科の在り方や、高等学校教育の質を問うような抜本的な改革の道筋を明らかにしていく必要がある。

以上のことを踏まえつつ、生徒の減少と社会の急激な変化に対応し、「自立して心豊かに生きる 未来を創造する」人材を育てるための県立高等学校の在り方について、主に次の観点から審議会に検討をお願いするもの。

< 検討の観点 >

1 新しい時代における魅力ある県立高等学校づくりの方策

- Society5.0時代を見据えた生徒一人一人の能力を最大限伸ばす個別最適化された学び
- 将来の地域を支える人材を育てるふるさとキャリア教育の推進
- 地域から問題提起し、世界に貢献する行動ができる力を育成する学び
- 高等学校教育の普通科改革に対応した本県の普通学科の在り方
- 地域の産業界を支える視点での本県の専門学科の在り方
- 特別な支援が必要な生徒に対する指導及び支援の在り方
- 時代の変化・役割の変化に応じた定時制・通信制課程の在り方

2 新しい時代における県立高等学校の教育環境整備の方策

- 今後も続く生徒減少の中での学校規模の在り方
- 普通学科と専門学科、総合学科との適正配置の在り方
- 中山間地の小規模校の在り方
- 公立・私立高等学校、高等専門学校の役割分担や連携の在り方
- Society5.0の社会に対応したICT利活用教育に関する学校施設・設備の在り方

鳥取県教育審議会学校等教育分科会委員名簿

氏 名	職 名 等
小 椋 博 幸	倉吉市教育委員会教育長
尾 崎 宏 之	社会保険労務士・社会福祉士（一般公募委員）
金 山 文 隆	米子北斗高等学校・中学校 校長
佐々木 せいこ	鳥取県PTA協議会中部ブロック代表理事
土 井 則 子	元鳥取市健康こども部こども家庭課嘱託職員 こども未来応援推進コーディネーター
中 村 栄 三	岡山大学惑星物質研究所長
藤 田 則 恵	県立鳥取盲学校長
松 岡 昭 長	鳥取市立青谷中学校長
松 本 昭 夫	北栄町長
三 木 裕 和	鳥取大学地域学部教授
山 崎 泰 央	智頭町立智頭小学校長
山 根 比 俊 喜	鳥取大学地域学部教授
岡 空 京 子	鳥取商工会議所女性会連合会理事 千代むすび酒造株式会社専務取締役
田 中 弘 宏	県立米子東高等学校長
飛 川 みゆき	北栄町大谷こども園園長
西 川 昌 孝	鳥取県高等学校PTA連合会長

※敬称略。

令和新時代の本県高等学校の在り方検討に関するスケジュール概要（案）

令和2年2月20日
高等学校課

令和元年度 今後の高校の在り方検討に関し、県教育委員会から鳥取県教育審議会への諮問

令和2年度 鳥取県教育審議会学校等教育分科会における検討（年10回程度）

令和3年度 ・鳥取県教育審議会学校等教育分科会から県教育委員会への答申

・県教育委員会事務局による次期方針素案の策定開始

令和5年度中を目途に、次期方針の決定

郡市別児童生徒数の推移

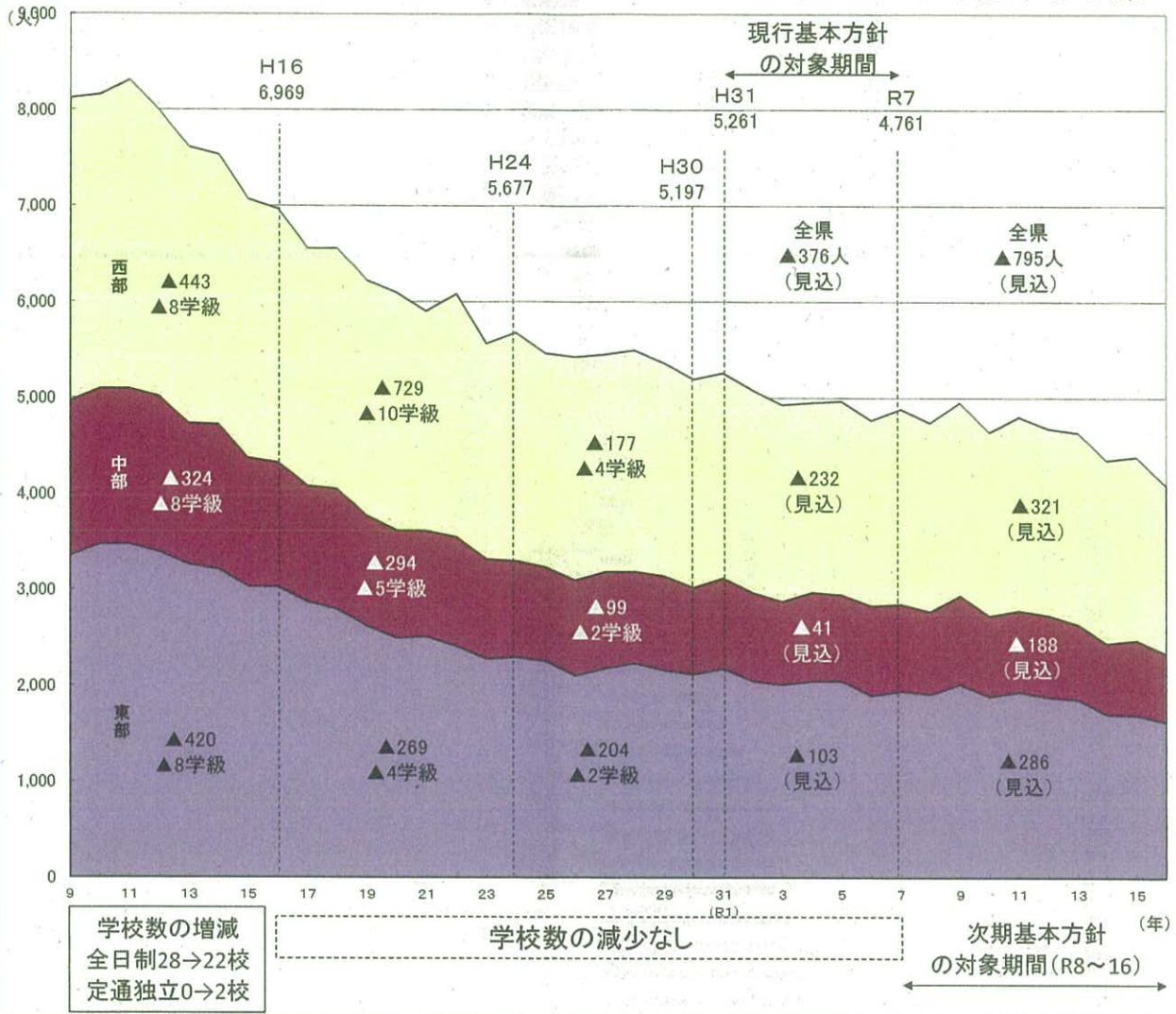
令和元年5月1日現在

学年 (現在の学年)	中学卒業者数																	学校基本調査										推計													
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31 (R1)	R2 (中3)	3 (中2)	4 (中1)	5 (小6)	6 (小5)	7 (小4)	8 (小3)	9 (小2)	10 (小1)	11 (5歳)	12 (4歳)	13 (3歳)	14 (2歳)	15 (1歳)	16 (0歳)			
全県	8,122	8,156	8,209	7,985	7,612	7,533	7,069	6,560	6,557	6,223	6,096	5,902	5,803	5,566	5,498	5,454	5,427	5,467	5,427	5,454	5,498	5,369	5,197	5,261	5,082	4,931	4,953	4,968	4,768	4,885	4,742	4,951	4,646	4,805	4,683	4,638	4,353	4,387	4,090		
(増減)	△ 169	34	153	△ 324	△ 373	△ 79	△ 464	△ 100	△ 409	△ 3	△ 334	△ 127	△ 194	181	△ 515	109	△ 210	△ 40	27	44	△ 129	△ 172	64	△ 179	△ 151	22	15	△ 200	117	△ 143	209	△ 305	159	△ 122	△ 45	△ 285	34	△ 297			
東部地区	1,796	1,878	1,874	1,834	1,780	1,730	1,657	1,632	2,172	2,118	1,938	1,894	1,894	1,813	1,713	1,735	1,740	1,606	1,677	1,717	1,660	1,588	1,696	1,566	1,550	1,577	1,701	1,608	1,598	1,550	1,696	1,557	1,662	1,638	1,624	1,495	1,453	1,412			
中部地区	348	391	390	377	365	340	328	344	156	145	163	137	121	136	99	108	96	111	100	106	89	111	102	106	83	86	85	62	83	99	80	81	75	70	77	68	73	67			
西部地区	724	734	750	696	687	686	608	610	390	379	362	309	343	314	318	303	271	238	251	260	229	255	203	204	205	205	203	171	201	199	181	200	202	177	159	145	171	148			
小計	3,352	3,472	3,473	3,393	3,264	3,213	3,036	3,029	2,873	2,796	2,622	2,495	2,512	2,413	2,282	2,300	2,260	2,108	2,182	2,235	2,163	2,123	2,180	2,050	2,013	2,050	2,052	1,902	1,902	1,848	1,915	2,019	1,881	1,939	1,885	1,860	1,708	1,697	1,627		
(増減)	△ 190	120	1	△ 80	△ 129	△ 51	△ 177	△ 7	△ 156	△ 77	△ 174	△ 127	17	△ 99	△ 131	18	△ 40	△ 152	74	53	△ 72	△ 40	57	△ 130	△ 37	37	2	△ 150	46	△ 33	104	△ 128	48	△ 54	△ 25	△ 152	△ 111	△ 70			
倉吉市	680	645	663	637	554	610	520	546	530	558	520	485	497	504	488	437	433	441	444	433	409	389	388	416	387	415	416	440	391	391	442	369	393	365	357	352	371	344			
東伯郡	934	975	956	984	917	897	817	750	678	696	629	639	590	606	532	536	515	530	533	497	546	491	531	473	460	484	483	493	511	469	478	472	453	486	425	384	410	370			
清和学院中																								34	21	26															
小計	1,614	1,620	1,619	1,621	1,471	1,507	1,337	1,296	1,208	1,254	1,149	1,124	1,104	1,134	1,037	1,002	979	995	1,004	954	982	903	943	923	868	925	899	933	902	860	920	841	846	851	792	736	781	714			
(増減)	△ 48	6	△ 1	2	△ 150	36	△ 170	△ 41	△ 88	46	△ 105	△ 25	△ 20	30	△ 97	△ 35	△ 23	16	9	△ 50	28	△ 79	40	△ 20	△ 55	57	△ 26	34	△ 31	△ 42	60	△ 79	5	△ 69	△ 46	45	△ 67				
米子市	1,708	1,607	1,777	1,578	1,581	1,510	1,441	1,479	1,436	1,477	1,478	1,485	1,434	1,542	1,380	1,471	1,399	1,476	1,434	1,479	1,441	1,376	1,394	1,403	1,342	1,271	1,393	1,285	1,369	1,312	1,338	1,279	1,367	1,321	1,377	1,287	1,318	1,219			
境港市	481	461	471	480	411	421	398	364	410	377	376	402	355	386	333	360	330	349	340	331	314	308	281	280	282	265	262	286	273	286	273	275	277	283	280	263	268	252			
西伯郡	650	671	624	602	559	615	580	533	453	461	405	398	335	436	369	412	335	356	357	371	338	346	356	319	328	341	314	324	336	334	351	314	322	298	297	314	285	248			
日野郡	251	253	269	229	238	214	223	203	135	129	130	132	120	124	121	88	100	85	82	82	78	81	73	70	60	61	48	38	57	35	50	46	54	45	42	45	38	30			
北斗中	66	72	76	82	88	53	54	65	45	63	63	60	42	48	46	44	64	58	55	46	53	60	34	37	38	40															
小計	3,156	3,064	3,217	2,971	2,877	2,813	2,696	2,644	2,479	2,507	2,452	2,477	2,286	2,249	2,375	2,228	2,324	2,268	2,309	2,224	2,171	2,138	2,109	2,050	1,978	2,017	1,933	2,035	1,967	2,012	1,914	2,020	1,947	1,996	1,909	1,909	1,749				
(増減)	69	△ 92	153	△ 246	△ 94	△ 64	△ 117	△ 52	△ 165	28	△ 55	25	△ 191	250	△ 287	126	△ 147	96	△ 56	41	△ 85	△ 53	△ 33	△ 29	△ 59	△ 72	39	△ 84	102	△ 68	45	△ 98	106	△ 73	49	△ 87	0	△ 160			

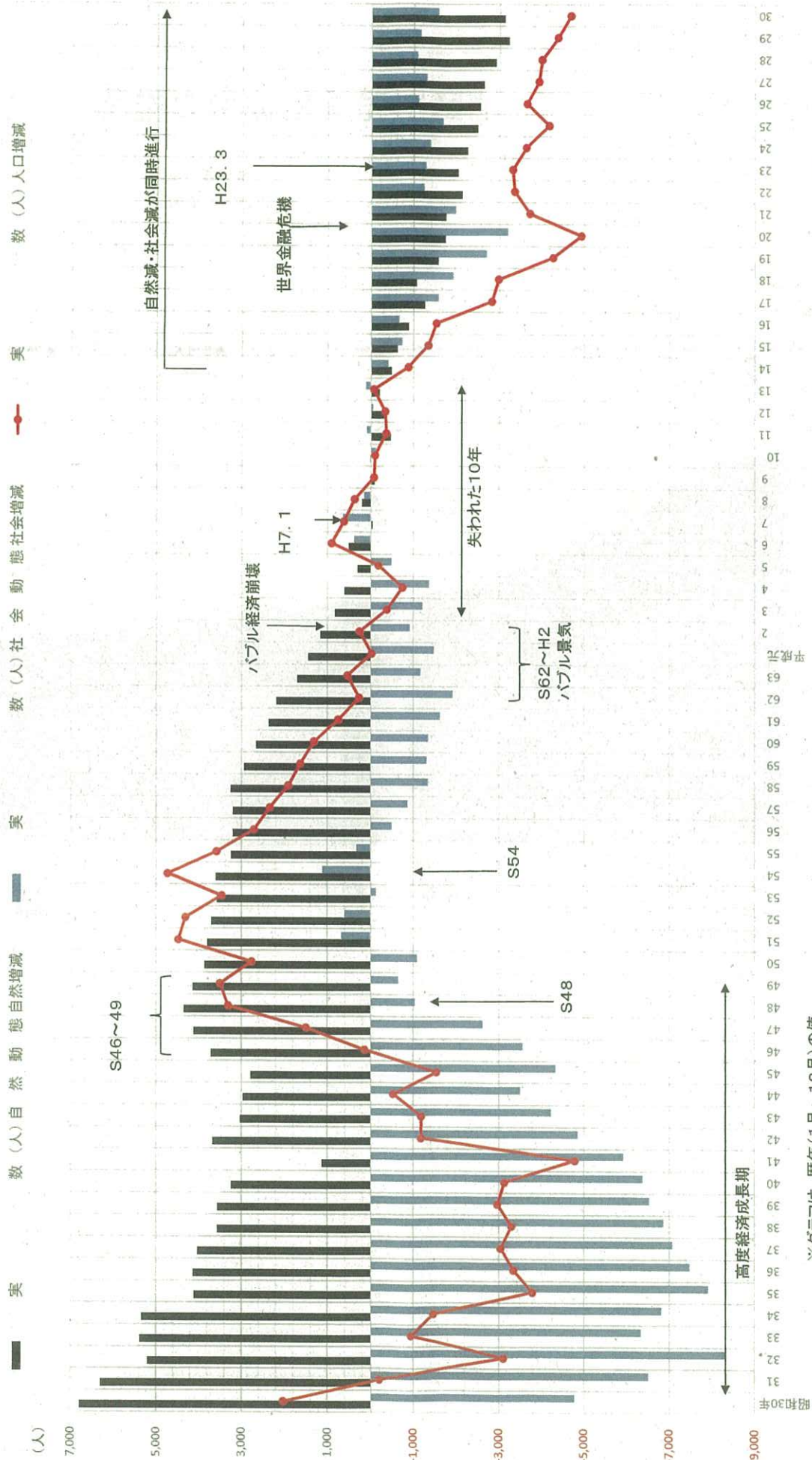
(注1) 平成31年以前は、3月中学卒業者数。
 (注2) 令和2～4年は、令和元年5月1日現在の中学校在籍者数。算数表中は米子市に含まれている。(特別支援学校生徒も含む)
 (注3) 令和5～10年は、令和元年5月1日現在の小学校在籍者数。(特別支援学校生徒も含む)
 (注4) 令和11年以降は、市町村の推計による。
 (注5) 平成17年以降は、市町村合併後の新しい郡市のものである。

地区別児童生徒数の推移

令和元年5月1日現在



鳥取県の人口動態の推移(S30~H30)



※グラフは、暦年(1月~12月)の値
 (出典)鳥取県令和新时代創造本部統計課ホームページ「鳥取県の人口動態推移(昭和30年~平成30年)」

高等学校教育改革における県立高等学校の概要(平成22年度以降)

※ は学級減

【全日制課程】

学校名	平成22年度状況		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	
	学科名	小学科・コース名										大学科	小学科・コース名
鳥取東	普通⑦ 理数①	普通⑦ 理数①				普通⑥ 理数①						普通⑥ 理数①	単位制 普通科⑥ 単位制 理数科①
鳥取西	普通⑧	普通⑧						普通⑦				普通⑦	普通科⑦
鳥取商業	商業⑤	商業⑤										商業⑤	商業科⑤
鳥取工業	工業④ 電気① 制御・情報① 建設工学① 土木コース 建築コース 理数工学①	工業④ 電気① 制御・情報① 建設工学① 土木コース 建築コース 理数工学①		機械① 電気① 制御・情報① 建設工学① (コース廃止) 理数工学①						機械科① 電気科① 制御・情報科① 建設工学科① 理数工学科① 募集停止		工業④	機械科① 電気科① 制御・情報科① 建設工学科①
鳥取湖陵	農業② 工業① 家庭② 情報①	食品システム① 緑地デザイン① 電子機械① 人間環境② 情報科学①	食品システム① 緑地デザイン① 電子機械① 人間環境① 情報科学①									農業② 工業① 家庭① 情報①	総合選択制 食品システム科① 緑地デザイン科① 電子機械科① 人間環境科① 情報科学科①
青谷	普通③	普通③				総合③						普通③	総合③ 普通科③
岩美	普通③	普通③										普通③	普通科③
八頭	理数① 国際英語① 普通⑥	理数① 国際英語① 総合コース⑤ 体育コース①	普通⑦ 総合④、体育①、探究理科①									普通⑥	普通科⑥ コース廃止
智頭農林	農業③	園芸科学① 森林科学① 環境科学①						ふるさと創造① 森林科学① 生活環境①				農業③	ふるさと創造科① 森林科学科① 生活環境科①
倉吉東	普通⑥	普通⑥	普通⑤									普通⑤	単位制 普通科⑤
倉吉西	普通④	普通④				普通③						普通③	単位制 普通科③
倉吉農業	農業④	生物生産① 園芸① 環境科学① 環境土木①	生物① 食品① 環境①									農業③	生物科① 食品科① 環境科①
倉吉総合産業	工業② 商業① 家庭① 情報①	機械システム① 電気システム① ビジネス① 生活デザイン① マルチメディア技術①	機械① 電気① ビジネス① 生活デザイン① 情報①				機械① 電気① ビジネス① 生活デザイン① 募集停止					工業② 商業① 家庭①	総合選択制 機械科① 電気科① ビジネス科① 生活デザイン科①
鳥取中央育英	普通④	普通③ 体育①										普通④	単位制 普通科④ (普通コース③、体育コース①)
米子東	普通⑧	生命科学コース① 普通コース⑦										普通⑧	単位制 普通科⑧ (普通コース⑦、生命科学コース①)
米子西	普通⑧	普通⑧									普通⑦	普通⑦	単位制 普通科⑦ (普通コース⑦)
米子南	商業③ 家庭①	ビジネス情報③ 生活文化① 環境文化コース 調理コース										商業③ 家庭①	ビジネス情報科③ 生活文化科① (環境文化コース、調理コース)
米子工業	工業⑤	機械① 電気① 情報電子① 都市環境① 建設コース 環境化学コース 建築①				機械① 電気① 情報電子① 環境エネルギー① 建設① [土木・建築]						工業⑤	機械科① 電気科① 情報電子科① 環境エネルギー科① 建設科① (土木コース、建築コース)
境	普通⑥	普通⑥	普通⑤									普通⑤	単位制 普通科⑤
境港総合技術	水産② 工業② 商業① 福祉①	海洋① 食品① 機械① 電気電子① ビジネス① 福祉①	海洋① 食品① 機械① 電気電子① 福祉① 募集停止									水産② 工業② 商業① 福祉①	総合選択制 海洋科① 食品・ビジネス科① 機械科① 電気電子科① 福祉科①
日野		総合③				総合②							総合②

【定時制課程・通信制課程】

鳥取緑風	定時制	総合(午前)① (午後)① (夜間)①										定時制	総合(午前)① (午後)① (夜間)①
	通信制	普通約80人										通信制	普通約80人
倉吉東	定時制	普通(夜)①										定時制	普通(夜)①
米子東	定時制	普通(夜)①										定時制	普通(夜)①
米子白鳳	定時制	総合(午前)① (午後)①										定時制	総合(午前)① (午後)①
	通信制	普通約80人										通信制	普通約80人

県立高等学校募集生徒数(令和2年度)

<全日制課程>

学校名	大学科	小学科 (コース)	令和2年度	
			学級数	定員
鳥取東	普通	普通	6	280
		通数	1	
計			7	280
鳥取西	普通	普通	7	280
鳥取商業	商業	商業	5	190
鳥取工業	工業	機械	1	38
		電気	1	38
		制御・情報	1	38
		建設工学	1	38
		計	4	152
鳥取湖陵	農業	食品システム	1	38
		緑地デザイン	1	38
	工業	電子機械	1	38
		家庭環境	1	38
	情報	情報科学	1	38
計			5	190
青谷	総合	総合	3	114
岩美	普通	普通	3	114
八頭	普通	普通	6	240
智頭農林	農業	ふるさと創造	1	68
		森林科学	1	
		生活環境	1	
		計	3	
東部地区計			43	1,628
倉吉東	普通	普通	5	200
倉吉西	普通	普通	3	120
倉吉農業	農業	生物	1	34
		食品	1	34
		環境	1	34
		計	3	102
倉吉総合	工業	機械	1	38
		電気	1	38
		商業	1	38
		家庭	1	38
		計	4	152
鳥取中央	普通	普通(普通)	3	120
		普通(体育)	1	40
		計	4	160
中部地区計			19	734

学校名	大学科	小学科 (コース)	令和2年度	
			学級数	定員
米子東	普通	普通(生命科学)	1	40
		普通(普通)	7	280
計			8	320
米子西	普通	普通	7	280
米子	総合	総合	4	152
米子南家	商業	ビジネス情報	3	114
		生活文化	1	38
		計	4	152
米子工業	工業	機械	1	38
		電気	1	38
		情報電子	1	38
		環境エネルギー	1	38
		建設	1	38
計			5	190
境	普通	普通	5	200
境港総合	水産	海洋	1	38
		食品・ビジネス	1	38
		機械	1	38
		電気電子	1	38
		福祉	1	38
計			5	190
日野	総合	総合	2	76
西部地区計			40	1,560
全日制計			102	3,922

<定時制課程>

学校名	大学科	小学科 (コース)	令和2年度	
			学級数	定員
鳥取緑風	総合	【午前】	1	70
		【午後】	1	
		【夜間】	1	
		計	3	
倉吉東	普通	普通	1	40
米子東	普通	普通	1	30
米子白鳳	総合	【午前】	1	60
		【午後】	1	
		計	7	
定時制計			12	220

<通信制課程>

学校名	大学科	小学科 (コース)	令和2年度
			定員
鳥取緑風	普通	普通	約80
米子白鳳	普通	普通	約80
通信制計			約160

県立高等学校の生徒数(令和元年度)

令和元年5月1日時点

<全日制課程>

学校名	大学科	小学科 (コース)	令和元年度	
			学級数	生徒数
鳥取東	普通	普通	6	727
		理数	1	123
計			7	850
鳥取西	普通	普通	7	844
鳥取商業	商業	商業	5	538
鳥取工業	工業	機械	1	100
		電気	1	97
		制御・情報	1	114
		建設工学	1	109
		理工学	1	30
		計	4	450
鳥取湖陵	農業	食品システム	1	111
		緑地デザイン	1	99
		電子機械	1	85
		人間環境	1	102
		情報科学	1	115
計			5	512
青谷	総合		3	241
岩美	普通	普通	3	187
八頭	普通	普通	6	793
智頭農林	農業	ふるさと創造	1	44
		森林科学	1	57
		生活環境	1	27
計			3	128
西部地区計			43	4,543
倉吉東	普通	普通	5	575
倉吉西	普通	普通	3	351
倉吉農業	農業	生物	1	87
		食品	1	88
		環境	1	74
計			3	249
倉吉総合	工業	機械	1	108
		電気	1	99
		ビジネス	1	111
		家庭生活デザイン	1	112
		計	4	430
鳥取中央	普通	普通(普通)	3	346
		普通(体育)	1	107
計			4	453
西部地区計			19	2,058

学校名	大学科	小学科 (コース)	令和元年度	
			学級数	生徒数
米子東	普通	普通(生命科学)	1	841
		普通(普通)	7	119
計			8	960
米子西	普通	普通	7	908
米子	総合		4	451
米子南	商業	ビジネス情報	3	315
		家庭生活文化	1	113
計			4	428
米子工業	工業	機械	1	112
		電気	1	113
		情報電子	1	114
		環境エネルギー	1	113
		建設	1	113
計			5	565
境	普通	普通	5	565
境港総合	水産	海洋	1	71
		食品・ビジネス	1	91
		機械	1	87
		電気電子	1	98
		福祉	1	104
計			5	451
日野	総合		2	116
西部地区計			40	4,444
全日制計			102	11,045

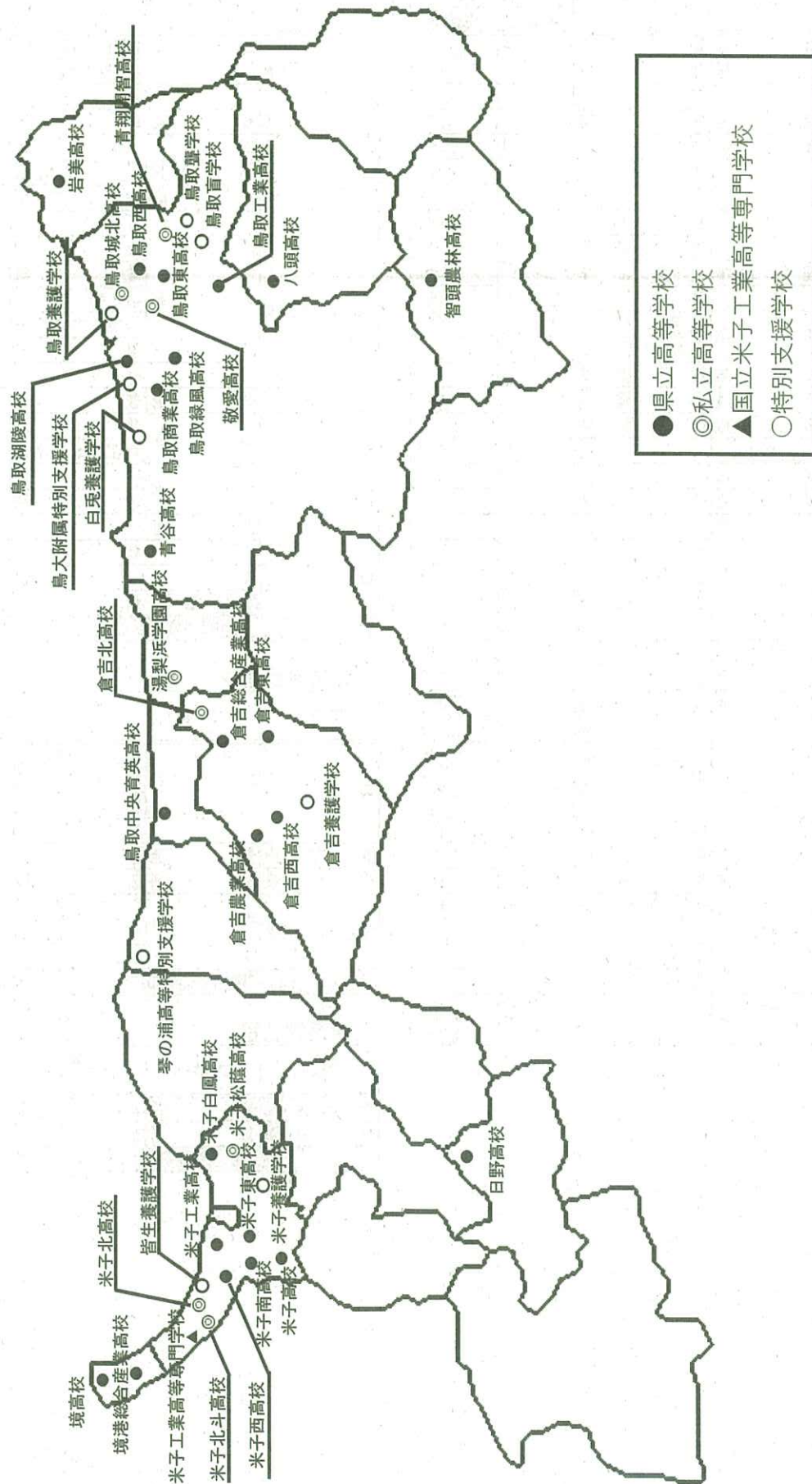
<定時制課程>

学校名	大学科	小学科 (コース)	令和元年度	
			学級数	生徒数
鳥取緑風	総合	【午前】	1	112
		【午後】	1	47
		【夜間】	1	20
		計	3	179
倉吉東	普通	普通	1	16
米子東	普通	普通	1	60
米子白鳳	総合	【午前】	1	87
		【午後】	1	57
		計	2	60
定時制計			7	315

<通信制課程>

学校名	大学科	小学科 (コース)	令和元年度
			生徒数
鳥取緑風	普通	普通	68
米子白鳳	普通	普通	228
通信制計			296

鳥取県の高等学校等設置状況（令和元年度）



県立高等学校設置廃止科及び学級数等（令和2年度入学生）

■東部地区・全日制課程

学校名	学科名	小学校名	小学校名
鳥取東	普通	普通科⑥	普通科⑥
	理数	理数科①	理数科①
鳥取西	普通	普通科⑦	普通科⑦
鳥取商業	商業	商業科⑤	商業科⑤
鳥取工業	工業	機械科①	機械科①
		電気科①	電気科①
		制御・情報科①	制御・情報科①
鳥取湖陵	農業	建設工学科	建設工学科
		食品システム科	食品システム科
		緑地デザイン科	緑地デザイン科
青谷	工業	電子機械科	電子機械科
	家庭	人間環境科	人間環境科
岩美	情報	情報科学科	情報科学科
	総合	総合科学科③	総合科学科③
八頭	普通	普通科③	普通科③
	普通	普通科⑥	普通科⑥
智頭農林	農業	ふるさと創造科①	ふるさと創造科①
		森林科学科①	森林科学科①
		生活環境科①	生活環境科①

■定時制・通信制課程

学校名	課程	学科名等
鳥取緑風	定時制	総合／総合科学科③
	通信制	普通／普通科

■中部地区・全日制課程

学校名	学科名	小学校名	小学校名
倉吉東	普通	普通科⑤	普通科⑤
倉吉西	普通	普通科③	普通科③
倉吉農業	農業	生物科①	生物科①
		食品科①	食品科①
		環境科①	環境科①
倉吉総合産業	工業	機械科①	機械科①
		電気科①	電気科①
		ビジネス科①	ビジネス科①
鳥取中央育英	家庭	生活デザイン科①	生活デザイン科①
	普通	普通科④	普通科④

■定時制課程

学校名	課程	学科名等
倉吉東	定時制	普通／普通科①

■西部地区・全日制課程

学校名	学科名	小学校名	小学校名
米子東	普通	普通科⑧	普通科⑧
米子西	普通	普通科⑦	普通科⑦
米子	総合	総合科学科④	総合科学科④
米子南	商業	ビジネス情報科③	ビジネス情報科③
	家庭	生活文化科	生活文化科
米子工業	工業	機械科①	機械科①
		電気科①	電気科①
		情報電子科①	情報電子科①
		環境エネルギー科①	環境エネルギー科①
境	普通	建設科①	建設科①
	普通	普通科⑤	普通科⑤
境港総合技術	水産	海洋科①	海洋科①
	工業	食品・ビジネス科	食品・ビジネス科
日野	福祉	機械科①	機械科①
		電気電子科①	電気電子科①
		福祉科①	福祉科①
日野	総合	総合科学科②	総合科学科②

■定時制・通信制課程

学校名	課程	学科名等
米子東	定時制	普通／普通科①
米子白鳳	定時制	総合／総合科学科②
	通信制	普通／普通科

※全日制課程における1学級の定員は、普通科高校（岩美高校を除く）が40人。その他の高校は38人。

※○の中の数字は、1学年当たりの学級数。

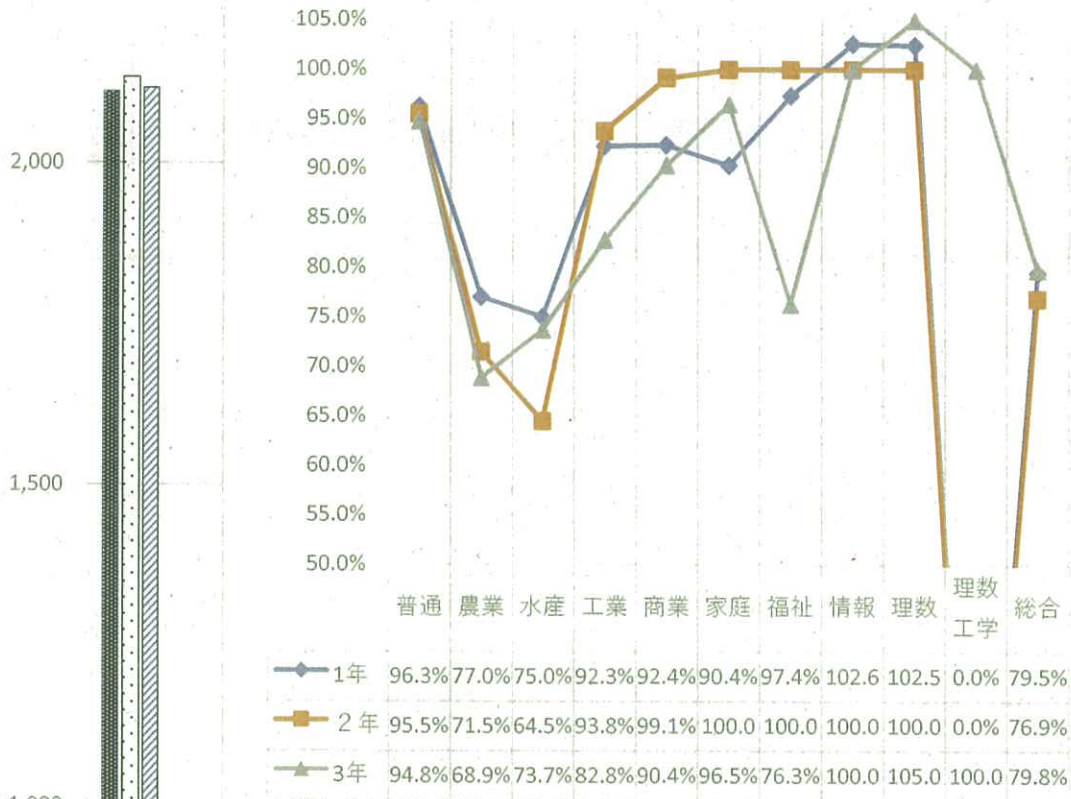
県立高等学校（全日制）の生徒数一覧（令和元年5月1日現在）

学校名	学科	定員			1年			2年			3年		
		1年	2年	3年	生徒数	過不足数	充足率	生徒数	過不足数	充足率	生徒数	過不足数	充足率
鳥取東	普通	240	240	240	246	6	102.5%	244	4	101.7%	237	△3	98.8%
	理数	40	40	40	41	1	102.5%	40	0	100.0%	42	2	105.0%
鳥取西	普通	280	280	280	284	4	101.4%	283	3	101.1%	277	△3	98.9%
鳥取商業	商業	190	190	190	183	△7	96.3%	192	2	101.1%	163	△27	85.8%
鳥取工業	工業	152	152	190	137	△15	90.1%	150	△2	98.7%	133	△57	70.0%
	理数工学			38							30	△8	78.9%
鳥取湖陵	農業	76	76	76	62	△14	81.6%	72	△4	94.7%	76	0	100.0%
	工業	38	38	38	29	△9	76.3%	36	△2	94.7%	20	△18	52.6%
	家庭	38	38	38	29	△9	76.3%	38	0	100.0%	35	△3	92.1%
	情報	38	38	38	39	1	102.6%	38	0	100.0%	38	0	100.0%
青谷	総合	114	114	114	91	△23	79.8%	64	△50	56.1%	86	△28	75.4%
岩美	普通	114	114	114	85	△29	74.6%	47	△67	41.2%	55	△59	48.2%
八頭	普通	280	280	280	267	△13	95.4%	261	△19	93.2%	265	△15	94.6%
智頭農林	農業	80	80	80	53	△27	66.3%	38	△42	47.5%	37	△43	46.3%
倉吉東	普通	200	200	200	185	△15	92.5%	197	△3	98.5%	193	△7	96.5%
倉吉西	普通	120	120	120	120	0	100.0%	112	△8	93.3%	119	△1	99.2%
倉吉農業	農業	114	114	114	93	△21	81.6%	83	△31	72.8%	73	△41	64.0%
倉吉総合産業	工業	76	76	76	76	0	100.0%	60	△16	78.9%	71	△5	93.4%
	商業	38	38	38	35	△3	92.1%	37	△1	97.4%	39	1	102.6%
	家庭	38	38	38	36	△2	94.7%	38	0	100.0%	38	0	100.0%
鳥取中央育英	普通	160	160	160	152	△8	95.0%	155	△5	96.9%	146	△14	91.3%
米子東	普通	320	320	320	320	0	100.0%	319	△1	99.7%	321	1	100.3%
米子西	普通	280	320	320	281	1	100.4%	317	△3	99.1%	310	△10	96.9%
米子	総合	152	152	152	152	0	100.0%	151	△1	99.3%	148	△4	97.4%
米子南	商業	114	114	114	98	△16	86.0%	110	△4	96.5%	107	△7	93.9%
	家庭	38	38	38	38	0	100.0%	38	0	100.0%	37	△1	97.4%
米子工業	工業	190	190	190	192	2	101.1%	185	△5	97.4%	188	△2	98.9%
境	普通	200	200	200	172	△28	86.0%	199	△1	99.5%	194	△6	97.0%
境港総合技術	水産	76	76	76	57	△19	75.0%	49	△27	64.5%	56	△20	73.7%
	工業	76	76	76	57	△19	75.0%	68	△8	89.5%	60	△16	78.9%
	福祉	38	38	38	37	△1	97.4%	38	0	100.0%	29	△9	76.3%
日野	総合	76	76	76	29	△47	38.2%	48	△28	63.2%	39	△37	51.3%

学科別 集計	普通	2,194	2,234	2,234	2,112	△82	96.3%	2,134	△100	95.5%	2,117	△117	94.8%	
	農業	270	270	270	208	△62	77.0%	193	△77	71.5%	186	△84	68.9%	
	水産	76	76	76	57	△19	75.0%	49	△27	64.5%	56	△20	73.7%	
	工業	532	532	570	491	△41	92.3%	499	△33	93.8%	472	△98	82.8%	
	商業	342	342	342	316	△26	92.4%	339	△3	99.1%	309	△33	90.4%	
	家庭	114	114	114	103	△11	90.4%	114	0	100.0%	110	△4	96.5%	
	福祉	38	38	38	37	△1	97.4%	38	0	100.0%	29	△9	76.3%	
	情報	38	38	38	39	1	102.6%	38	0	100.0%	38	0	100.0%	
	理数	40	40	40	41	1	102.5%	40	0	100.0%	42	2	105.0%	
	理数工学			30								30	0	100.0%
	総合	342	342	342	272	△70	79.5%	263	△79	76.9%	273	△69	79.8%	
			3,986	4,026	4,094	3,676	△310	92.2%	3,707	△319	92.1%	3,662	△432	89.4%

2,500

各学年・学科別定員充足率



1,500

500

0

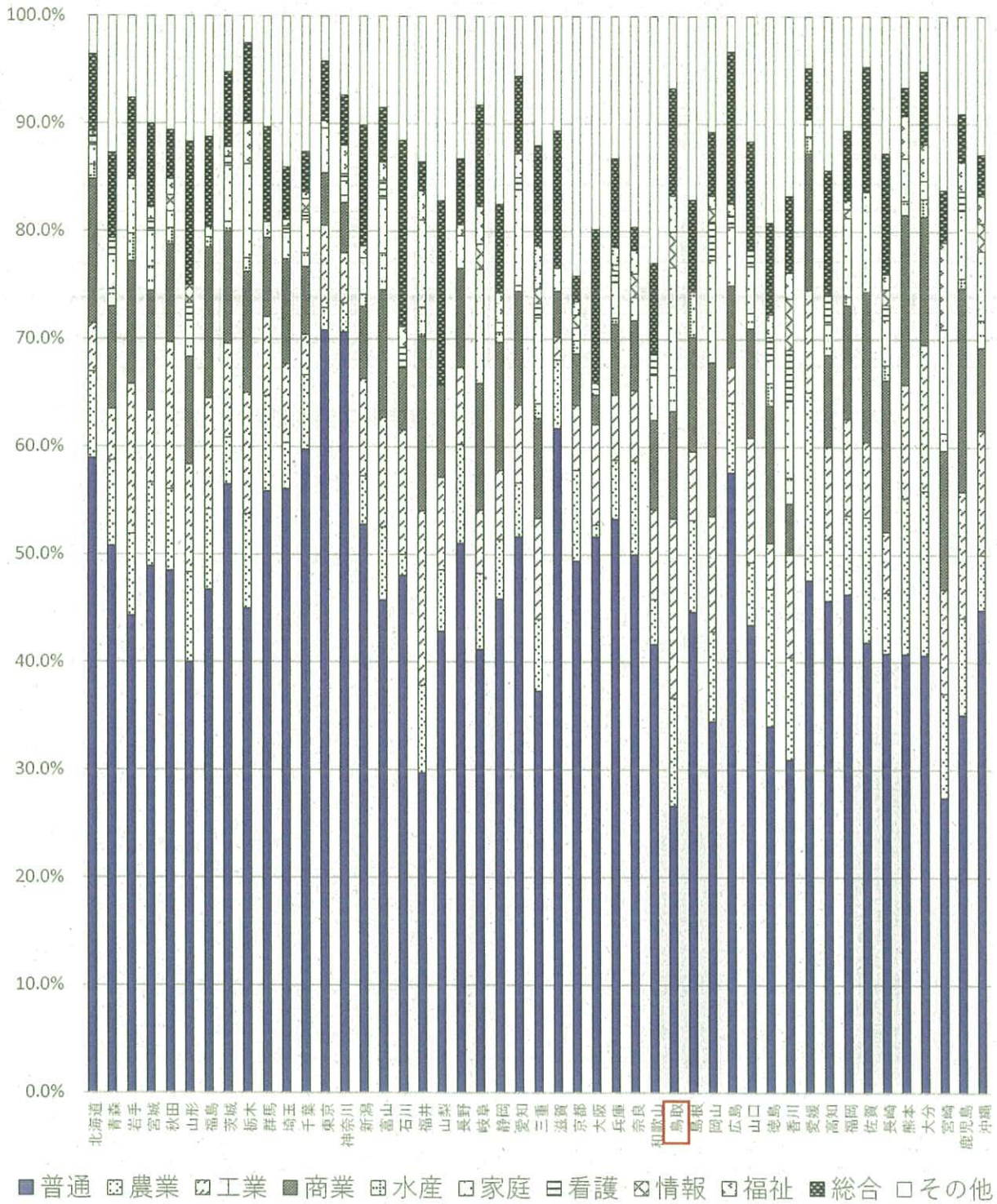
	普通	農業	水産	工業	商業	家庭	福祉	情報	理数	理数工学	総合
■ 1年	2,112	208	57	491	316	103	37	39	41	0	272
□ 2年	2,134	193	49	499	339	114	38	38	40	0	263
▨ 3年	2,117	186	56	472	309	110	29	38	42	30	273

県立高等学校（定時制・通信制）の生徒数一覧（令和元年5月1日現在）

学校名	課程・科名	定員			1年			2年			3年		
		1年	2年	3年	生徒数	過不足数	充足率	生徒数	過不足数	充足率	生徒数	過不足数	充足率
鳥取緑風	定時・総合	90	90	90	97	7	107.8%	47	△ 43	52.2%	35	△ 55	38.9%
	通信・普通	80	80	80		△ 80			△ 80		68		
倉吉東	定時・普通	40	40	40	10	△ 30	25.0%	2	△ 38	5.0%	4	△ 36	10.0%
米子東	定時・普通	30	30	30	16	△ 14	53.3%	22	△ 8	73.3%	22	△ 8	73.3%
米子白鳳	定時・総合	60	60	60	98	38	163.3%	31	△ 29	51.7%	15	△ 45	25.0%
	通信・普通	80	80	80		△ 80			△ 80		228		

※通信制については、学年がないため3年の欄に生徒総数を記載

全国公立高等学校大学科別構成比（令和元年度）



県立高等学校（全日制）における学科設置状況

【学級数】

学科	平成22年度	令和2年度	増減
普通	60	54	△6
農業	9	8	△1
水産	2	2	0
工業	14	14	0
商業	10	9	△1
家庭	4	3	△1
福祉	1	1	0
情報	2	1	△1
理数	2	1	△1
理数工学	1	0	△1
国際英語	1	0	△1
総合	11	9	△2
合計	117	102	△15

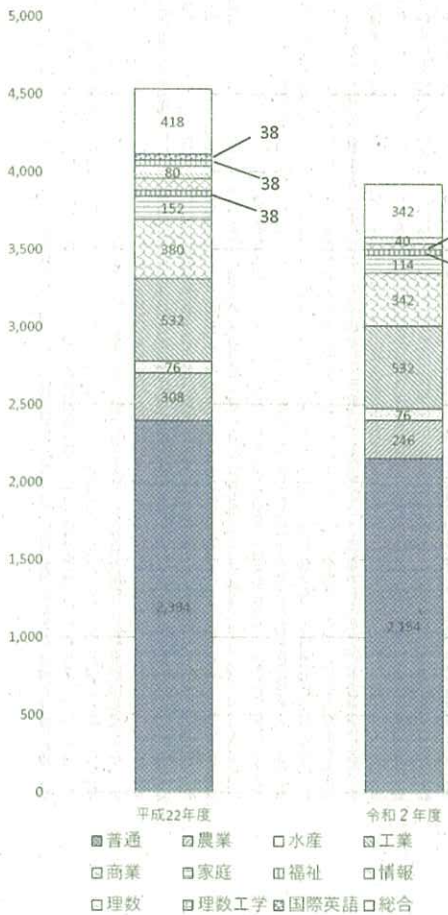
【募集定員】

学科	平成22年度	令和2年度	増減
普通	2,394	2,154	△240
農業	308	246	△62
水産	76	76	0
工業	532	532	0
商業	380	342	△38
家庭	152	114	△38
福祉	38	38	0
情報	76	38	△38
理数	80	40	△40
理数工学	38	0	△38
国際英語	40	0	△40
総合	418	342	△76
合計	4,532	3,922	△610

【募集定員学科別割合】

学科	平成22年度	令和2年度	増減pt
普通	52.8%	54.9%	2.1
農業	6.8%	6.3%	△0.5
水産	1.7%	1.9%	0.2
工業	11.7%	13.6%	1.9
商業	8.4%	8.7%	0.3
家庭	3.4%	2.9%	0.5
福祉	0.8%	1.0%	0.2
情報	1.7%	1.0%	△0.7
理数	1.8%	1.0%	△0.8
理数工学	0.8%	0.0%	△0.8
国際英語	0.9%	0.0%	△0.9
総合	9.2%	8.7%	△0.5
合計	100.0%	100.0%	0

学科別募集定員の比較



募集定員学科別割合の比較

